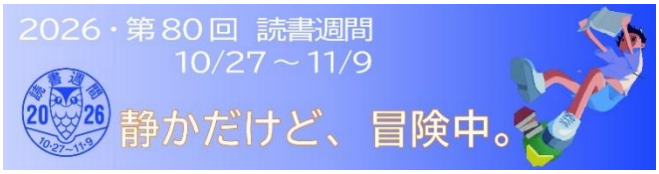
宮城県利府高等学校図書館発行

図書館だより

第6号　2026年10月

毎年10月27日から11月9日まで、全国の書店や出版社、公共図書館を中心に「読書週間」が行われます。これは、戦後に「読書の力によって、平和な文化国家を創ろう」として始まったものです。読書週間の今年のテーマは「静かだけど、冒険中」。本の中の冒険は、ページをめくるだけで始まります！図書館では、皆さんの読書を応援するため、下記のとおり特別貸出を行います。いつもより本に近づくチャンスです。

読書週間



■特別貸出期間　10/27(火)～11/9(月)
■貸出冊数　一人３冊まで（通常は２冊）
■貸出期間　２週間（通常は１週間）



いつもより
多くの本を
長い期間
借りられます！

おすすめの本 RECCOMEND BOOK

「君の膵臓をたべたい(双葉文庫)」
住野よる // 著　双葉社(刊)



私がこの本をおすすめしたい理由は、普段当たり前だと思っている「生きること」について考えさせられる作品だからです。主人公はクラスメイトの山内桜良が病気で余命わずかだと知ったことをきっかけに、少しずつ桜良と関わるようになります。性格も考え方も全く違う二人ですが、一緒に過ごす時間が増えるにつれて、お互いに大きな影響を与えていきます。特に印象に残ったのは、限られた時間の中で桜良が明るく前向きに生きようとする姿です。普段は何気なく過ごしている毎日も、決して当たり前ではないのだと気づかされました。また、人との出会いや関りによって、自分自身の考え方まで変わることにも心を動かされました。読み終わった後には、家族や友人と過ごす時間をもっと大切にしようと思える一冊です。　【2年4組　図書委員】

おすすめの本 RECCOMEND BOOK

「ハンギョドンの老子　穏やかに過ごす道しるべ(朝日文庫)」
朝日文庫編集部 // 編　朝日新聞出版(刊)



この本は、古くから伝わる中国の思想書「老子」の言葉をハンギョドンのかわいいイラストとともに知ることができるようになっています。自分や他人との向き合い方や、気持ちの面での悩みが多い世の中で心にとどめておきたい老子の言葉が多く載っています。他人の目を気にしすぎてしまう心や、競争社会のストレスをこの本は軽くしてくれます。

難しい漢字や解説がなく、どこから読んでも心に沁みる言葉に出会えるため、就寝前や隙間時間に息抜きとして読むことができ、心のデトックス本としておすすめです。「なんとなく心が疲れていると感じる人」、「もっと頑張らなきゃと自分を追い詰めてしまう人」など心に余裕がないと感じる人はぜひ借りに来て欲しいと思います。　【2年7組　図書委員】

新しい本のおしらせ

書名	著者名	出版社	請求記号
０００　総記			
AIにはできない　人工知能研究者が正しく伝える限界と可能性（角川新書）	栗原聡／著	KADOKAWA	007.1 ク
アルゴリズム・AIを疑う　誰がブラックボックスをつくるのか（集英社新書）	宇田川敦史／著	集英社	007.3 ウ
パンデミック監視社会　（ちくま新書）	デイヴィッド・ライアン／著	筑摩書房	007.3 ラ
スマホの中の子どもたち　デジタル社会で生き抜くために大人ができること	エミリー・ワインスタインほか／著	日経BP	007.3 ワ
１００　哲学			
問うとはどういうことか　人間的に生きるための思考のレッスン	梶谷真司／著	大和書房	１０４　カ
「みんな違ってみんないい」のか？　相対主義と普遍主義の問題（ちくまプリマー新書）	山口裕之／著	筑摩書房	１０４　ヤ
独学の思考法　地頭を鍛える「考える技術」　（講談社現代新書）	山野弘樹／著	講談社	１０４　ヤ
問いの編集力　思考の「はじまり」を探究する	安藤昭子／著	ディスカヴァー・トゥエンティワ	１４１.５ ア
やわらかい頭の作り方　身の回りの見えない構造を解明する（ちくま文庫）	細谷功／文	筑摩書房	１４１.５ ホ
生きることは頼ること「「自己責任」から「弱い責任」へ　（講談社現代新書）	戸谷洋志／著	講談社	１５１　ト
友情を哲学する　七人の哲学者たちの友情観　（光文社新書）	戸谷洋志／著	光文社	１５８　ト
１６歳からのライフシフト　LIFE　SHIFT	リンダ・グラットンほか／著	東洋経済新報社	１５９　グ
命の燃やし方	鈴木大飛／著	KADOKAWA	１５９　ス
２００　歴史			
中学生から知りたいウクライナのこと	小川哲　藤原辰史／著	ミシマ社	２３８　オ
SDGsは地理で学べ（ちくまプリマー新書）	宇野仙／著	筑摩書房	２９０　ウ
３００ 社会科学			
半径５メートルのフェイク論　「これ、全部フェイクです」	岡田憲治／著	東洋経済新報社	３０４　オ
私がつかんだコモンと民主主義　日本人女性移民、ヨーロッパのNGOで働く	岸本聡子／著	晶文社	３０９　キ
平等とは何か　運、格差、能力主義を問いなおす（中公新書）	田中将人／著	中央公論新社	３１１　タ
20歳の自分に教えたいアメリカ（SB新書）	池上彰／著	SBクリエイティブ	３１２.５ イ
アファーマティブ・アクション　平等への切り札か、逆差別か（中公新書）	南川文里／著	中央公論新社	３１６　ミ
はじめての戦争と平和（ちくまプリマー新書）	鶴岡路人／著	筑摩書房	３１９　ツ
「正しい戦争」は本当にあるのか　（講談社＋α新書）	藤原帰一／著	講談社	３１９.８ フ
行動経済学の処方箋　働き方から日常生活の悩みまで（中公新書）	大竹文雄／著	中央公論新社	３３１　オ
行動経済学が最強の学問である	相良奈美香／著	SBクリエイティブ	３３１　サ
未婚と少子化　この国で子どもを産みにくい理由（PHP新書）	筒井淳也／著	PHP研究所	３３４.３ ツ
ファッションの仕事で世界を変える（ちくまプリマー新書）	白木夏子／著	筑摩書房	３３５　シ
世界は経営でできている（講談社現代新書）	岩尾俊兵／著	講談社	３３６　イ
税と社会保障　少子化対策の財源はどうあるべきか（平凡社新書）	諸富徹／著	平凡社	３４５　モ
プロパガンダの見抜き方（新潮新書）	烏賀陽弘道／著	新潮社	３６１.４ ウ
聞く技術聞いてもらう技術（ちくま新書）	東畑開人／著	筑摩書房	３６１.４ ト
集団に流されず個人として生きるには（ちくまプリマー新書）	森達也／著	筑摩書房	３６１.４ モ
差別はたいてい悪意のない人がする　見えない排除に気づくための１０章	キム・ジへ／著	大月書店	３６１.８ キ
資本主義は私たちをなぜ幸せにしないのか（ちくま新書）	ナンシー・フレイザー／著	筑摩書房	３６２　フ
１５歳からの社会保障　人生のピンチに備えて知っておこう！	横山北斗／著	日本評論社	３６４　ヨ
司書になるには（なるにはBOOKS）	森智彦／著	ぺりかん社	366 モ 19
ジェンダー格差　実証経済学は何を語るか（中公新書）	牧野百恵／著	中央公論新社	３６７　マ
障害者の居場所　支え合う場「福祉型サードプレイス」をつくる（中公新書）	立脇恵子／著	中央公論新社	３６９.２ タ
体験格差（講談社現代新書）	今井悠介／著	講談社	３６９.４ イ
世界の教育はどこへ向かうか　能力・探究・ウェルビーイング（中公新書）	白井俊／著	中央公論新社	３７０　シ
「学校」をつくり直す（河出新書）	苫野一徳／著	河出書房新社	３７０.４ ト
先生が足りない	氏岡真弓／著	岩波書店	３７４　ウ
日本人の思考　ニッポンの大学教育から習性を読みとく（ちくま新書）	苅谷剛彦／著	筑摩書房	３７７　カ
４００　自然科学			
すごい科学論文（新潮新書）	池谷裕二／著	新潮社	４０４　イ
科学否定論はなぜ人をひきつけるのか（ちくま新書）	松村一志／著	筑摩書房	４０４　マ
数学の言葉で世界を見たら　父から娘に贈る数学（幻冬舎新書）	大栗博司／著	幻冬舎	４１０　オ
動的平衡３　新版　チャンスは準備された心にのみ降り立つ（小学館新書）	福岡伸一／著	小学館	460 フ 3
その医療情報は本当か（集英社新書）	田近安蘭／著	集英社	４９０　タ
新型コロナウイルス　ナースたちの現場レポート	日本看護協会出版会編集部／編	日本看護協会出版会	４９２.９ ニ
君がここにいるということ　小児科医と子どもたちの１８の物語（草思社文庫）	緒方高司／著	草思社	４９３　オ
５００　技術			
僕たちは伝統とどう生きるか（講談社現代新書）	小倉ヒラク／著	講談社	５８８.５ オ
６００　産業			
関係人口　都市と地方を同時並行で生きる（光文社新書）	高橋博之／著	光文社	６０１.１ タ
人口減少時代の農業と食（ちくま新書）	窪田新之助　山口亮子／著	筑摩書房	６１１　ク
ルポ　食が壊れる　私たちは何を食べさせられるのか？（文春新書）	堤未果／著	文藝春秋	６１１　ツ
森林に何が起きているのか　気候変動が招く崩壊の連鎖（中公新書）	吉川賢／著	中央公論新社	６５４　ヨ
日本の物流問題　流通の危機と進化を読みとく（ちくま新書）	野口智雄／著	筑摩書房	６７５　ノ
７００　芸術			
体育会系　日本のスポーツ教育が創った特異な世界（中公新書）	小野雄大／著	中央公論新社	７８０.１ オ
「アート」を知ると「世界」が読める（幻冬舎新書）	山中俊之／著	幻冬舎	７０２　ヤ
美しい曲線の幾何学模様　花と葉とつる草の芸術	リサ・デロング／著	創元社	７２７　デ
８００　言語			
言語の本質　ことばはどう生まれ、進化したか（中公新書）	今井むつみ　秋田喜美／著	中央公論新社	８０１　イ
言葉の道具箱	三木那由他／著	講談社	８０１　ミ
ロシア文学を学びにアメリカへ？　屋根の上のバイリンガル（中公文庫）	沼野充義／著	中央公論新社	８０４　ヌ
ことばを学ぶとはどういうことか　外国語学習の本質（ちくま新書）	松田真希子／著	筑摩書房	８０７　マ
いつもの言葉を哲学する（朝日新書）	古田徹也／著	朝日新聞出版	８１０　フ
小論文これだけ！　教育超基礎編　完全版	樋口裕一／著	東洋経済新報社	８１６.５ ヒ
完全版　小論文これだけ！　医学・看護・医療超基礎編	大原理志／著	東洋経済新報社	８１６.５ オ
ムラブリ　文字も暦も持たない狩猟採集民から言語学者が教わったこと	伊藤雄馬／著	集英社インターナショナル	８２９.３ イ
９００　文学			
AIは短歌をどう詠むか（講談社現代新書）	浦川通／著	講談社	９１１　ウ
十角館の殺人　〈新装改訂版〉　（講談社文庫）	綾辻行人／著	講談社	９１３.６ ア
君が夏を走らせる　（新潮文庫）	瀬尾まいこ／著	新潮社	９１３.６ セ

～芸術鑑賞会～10月13日(火)　東京エレクトロンホール宮城
演劇「12人の怒れる男たち」東京芸術座

演劇は、アメリカが舞台。18歳の少年事件をめぐって、12人の陪審員たちが議論を重ねていました。日本では、2009年から独自に「裁判員制度」を取り入れています。18歳になれば、裁判員に選ばれることもあります。自分たちを守る「少年法」について、もっと知っておくべきかもしれません。図書館では「陪審員制度・裁判員制度」の展示を行っています。民主主義を考える機会に！

「少年のための少年法入門」
山下敏雅ほか（監修）　旬報社





「高校生も法廷に！
10代のための裁判員裁判」
牧野茂ほか（監修）　旬報社（刊）